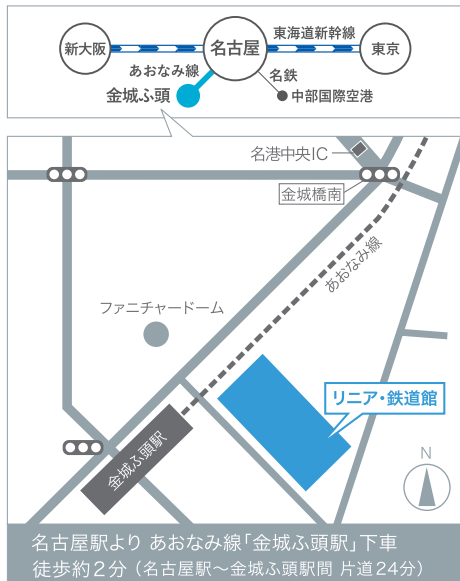


ご利用案内

開館時間	10:00～17:30（最終入館は閉館30分前まで）
休館日	毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、12月28日～1月1日
入館料	大人……………1,000円[800円] 小中高生……………500円[400円] 幼児（3歳以上未就学児）……………200円[100円] ●[]は20名様以上の団体料金 ●障害者手帳をお持ちのお客様 ご本人、付添の方（1名）とも 大人500円 / 高校生以下200円
シミュレータ 利用料	新幹線シミュレータ「N700」 1回 500円 在来線シミュレータ「車掌」 1回 500円 在来線シミュレータ「運転」 1回 100円

開館・イベント情報はHP・SNSでお知らせします！



※当館には駐車場がございません。近隣の駐車場をご利用ください。

リニア・鉄道館

〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭3-2-2
TEL:052-389-6100(10:00～17:30 休館日を除く)
<https://museum.jr-central.co.jp/>



※展示内容は変更する場合がございます。 ※このパンフレットに掲載している写真はすべてイメージです。

2023.3

展示コーナー

鉄道のしくみや歴史を体験しながら楽しく理解！

模型やパネル、実物を使っでの体験展示を通して、楽しく学習することができます。

鉄道ジオラマ



H0ゲージの鉄道模型を活用したジオラマでは、東海道新幹線沿線などの代表的な建物や情景、日常的な人々の様子を精緻に再現！夜間作業も含めた「鉄道の24時間」をジオラマの世界で楽しむことができます。

新幹線シミュレータ「N700」



N700系新幹線の実物大の運転台で臨場感と迫力のある運転操作を体験！運転操作をしない方も、運転台からの走行シーンを後方スペースから見て一緒に楽しむことができます。
※運転操作の体験は有料です。

在来線シミュレータ「運転」「車掌」



※展示内容は変更する場合があります。



キッズコーナー

小学生未満のお子さまと保護者のためのプレイルームです。プラレールなどを使って自由に遊ぶことができます。

超電導リニア展示室



浮上や走行の原理など、超電導リニアの技術を体験装置や模型で紹介。ミニシアターでは時速500kmの世界を模擬体験できます。



鉄道のしくみ



高速鉄道技術の進化の歴史や安全・高速・快適を支えるしくみを実物や模型で解説しています。



歴史展示室



日本の交通の要である東海道を中心に鉄道交通の発達を紹介し、鉄道が社会に与えてきた影響を多様な切り口で学べます。

映像シアター



新幹線開発の軌跡や高速鉄道の歴史など鉄道に関する映像コンテンツを放映しています。



リニア・鉄道館

SCMAGLEV and Railway Park



本物に、逢いに行こう。

さあ、夢と想い出のミュージアムへ。

<https://museum.jr-central.co.jp/>



車両展示

それぞれの「夢と思い出」に出会う場所
リニア・鉄道館

コンセプト

東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまで全部で
超電導リニアまでの展示を通じて
「高速鉄道技術の進歩」を紹介します。

鉄道が社会に与えた影響を、経済、文化および
生活などの切り口で学習する場を提供します。

模型やシミュレータ等を活用し、
子どもから大人まで楽しく学べます。



実物車両をいろいろな角度から見て、
ふれて、乗って、その迫力を実感！

東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまで全部で
39両の実物車両を展示しています。

C62形式 蒸気機関車



129km/h

日本最大・最速の蒸気機関車
で特急「つばめ」「はと」などで活躍。
1954年、狭軌鉄道の蒸気機関車としての
世界最高速度(129km/h)を記録。

955形 新幹線試験電車(300X)



443km/h

最新・最良の高速鉄道システムを
追求するために開発した試験車両。
1996年、電車方式による当時の世界
最高速度(443km/h)を記録。

超電導リニア MLX01-1



581km/h

2003年、山梨リニア実験線において、
当時の鉄道の世界最高速度(581km/h)を
記録。

高速鉄道の歴史を一堂に

モハ1形式 電車



鉄道省が製作した木製電車で現存する唯一の車両。
京浜線、中央線などで活躍し通勤電車の標準となった。

モハ52形式 電車



戦前に京阪神間の急行電車として活躍。流線形デザインから「流電」と呼ばれた。晩年には飯田線にも使用された。

キハ181形式 気動車



日本初の大出力特急気動車で、勾配区間の高速運転を実現。中央本線の特急「しなの」としてデビューし、北海道以外の全国で活躍した。

0系21形式 新幹線電車



東海道新幹線の開業時(1964年)から使用した0系と同型の先頭車。世界で初めて最高速度210km/hで営業運転を行った。

100系123形式 新幹線電車



0系の後継車として1985年から営業開始した100系の先頭車。0系をベースとしながらも居住性の大幅な改善が図られた。

300系322形式 新幹線電車



270km/h運転を実現した300系量産先行試作車。軽量化を追求し、高速走行、省エネルギーなどの性能が大きく向上した。

700系723形式 新幹線電車



1997年に登場した700系量産先行試作車。270km/hを超える高速運転はもちろん、快適性や環境適合性を高いレベルで実現。

N700系 新幹線電車(屋外展示)



N700系は700系をベースに高速性、快適性、環境性、省エネルギー性をさらに高めた車両で、新幹線として初めて車体傾斜システムを採用した。Nはnew、nextなどの意味を持つ。

ホジ 6005 形式蒸気自動車

重要文化財



客車の片側に蒸気機関車と同様の走行装置を備え、単車運転を可能にした車両(ホジ6014号蒸気自動車)。

国鉄バス第1号車

重要文化財



1930年に、鉄道省が初めてバス輸送を開始した際に使用された車両。この型式で現存する国産最古のバス(鉄道省営乗合自動車)。

MUSEUM SHOP

ミュージアムショップ

リニア・鉄道館にて限定販売しているオリジナルグッズをはじめ、文具・雑貨などさまざまな鉄道グッズや玩具、お土産菓子が勢揃い。リニア・鉄道館での実物車両との出会いと感動にひたりながら、お気に入りのグッズを見つけよう。



ダイキャストモデル

N700Sシリーズ

DELICA STATION

デリカステーション

リニア・鉄道館限定のお弁当をはじめ、名古屋駅等の駅弁やサンドイッチ、東海道新幹線車内のコーヒーマグ、鉄道関連のお土産などを販売。ご来館の思い出にぜひご利用ください。

お弁当は屋外展示 N700 系新幹線電車でも食べられます。



Dr.Yellow lunch box
リニア・鉄道館限定販売

アイスクリーム(パナラ)

ホットコーヒー

※ミュージアムショップ、デリカステーションに掲載しているグッズやお弁当の写真は一例です。商品の内容や価格については変更する場合がございますので、店頭でお確かめください。
※商品は売り切れる場合がございます。